

入浴オペレーションの見直し及び入浴管理表ペーパーレス化

事業所概要

- ・事業所名：地域密着型介護老人福祉施設 第五親和園（職員数 27名）
- ・サービス種別：地域密着型介護老人福祉施設 指定短期入所生活介護事業所（定員：29人）
- ・プロジェクトメンバーの構成：介護士、看護師、生活相談員、施設管理者

取組に至った背景

- 機械浴槽の故障により、修理・交換までの間は旧設備を使用せざるを得ず、**入浴介助における業務負担の増加を懸念**。
 - ・入浴介助の方法が職員によって異なり、統一されていなかったため、利用者の安全や職員間の連携に課題があった
 - ・機械浴槽の故障以前から、入浴終了時間が昼食時間帯と重複する状況が頻発、フロア業務における人員配置には継続的な課題が見られていた。
 - ・入浴担当者の選定や予定管理が紙ベースで煩雑だった。

課題解決のプロセス

- Step1
浴槽故障を機に、入浴オペレーション全体の棚卸を実施
- Step2
オペレーションを見直し、昼食前に入浴介助が完了するよう時間配分を調整
- Step3
新オペレーションに基づき、チーム全体が統一された動きで介助を実施
- Step4
入浴予定表をExcelで作成し、関数を活用して全フロアの予定を一括管理
- Step5
共有ファイルを導入し、ペーパーレスで入浴担当者の選定・確認が可能

※取組時のポイント・工夫※

- (1)時間配分の見直し
昼食前に入浴を終えることで、フロアの人員配置がスムーズに。
- (2)ペーパーレス化の推進
Excel関数を活用した予定表を作成したことで、全フロアの入浴予定が一目で把握可能に。
- (3)介助方法の標準化
全職員が同等の対応を行えるよう個別指導を実施。

取組効果

【質的な効果】

- (1)チーム全体が統一されたオペレーションに従って動くことで、連携が強化
- (2)昼食時間帯に十分な人員を確保できるようになり、業務の質が向上
- (3)職員間の介助方法のばらつきがなくなり、利用者への対応が安定

【量的な効果】

- (1)昼食前に入浴介助が完了し、フロアの人員配置が**1.5倍**に。
- (2)入浴（移動含む）に要した時間 3.5 時間 → 3時間 **30分短縮**
- (3)入浴予定表のペーパーレス化により、確認・調整等にかかる時間 **約50%短縮**

同様の取組を検討している事業所へのアドバイス

- ・設備更新を待たず、まずは**オペレーションの見直しから始めることで即効性のある改善**が可能
- ・**入浴介助の方法を標準化**することで、職員間の連携がスムーズになり、利用者の安心にもつながる
- ・Excelや共有ファイルを活用した**ペーパーレス化は、情報共有のスピードと正確性を大きく向上**
- ・**時間配分の見直しは、他業務への影響を減らし、施設全体の生産性向上**につながる

